

保定は商工業の地に
あらず

て、政治上の要地たるが故に、其の生産物も漬物、果物等を除きては、他に擧ぐるに足るべき物なし。米は皆南京ナンチン及天津地方より輸送するを以て、其の價廉ならず。然れども小麥、野菜、肉類等は、概ね附近一帯の地に産せり。飲用水は河水若くは井水を用ゐ、織物類は多く山東或は南方に仰ぎ、皮類は甘肅カンスー乃至張家口シヤンチャカオ方面の供給を受く。

市街は狭きも稍々整ひ、衛生亦可なりに行はる。家屋は其の中央に稠密し、城壁に近づくに従て次第に疎なり。城壁は厚さ約十數尺、高さ數丈あり。城外附近の地形は、一般に大坡狀を爲して、饅頭形の墳墓所々に點在す。道路は大部凹道にして、晴天には黃塵萬丈、雨後には泥濘沒膝の現況なり。停車場は狹隘、建築之に伴ひて小に、倉庫、工場共に全からず。又城内に行宮ありて、土工建築稍々觀るべし。

慶都

十六日午前十一時二十分、在留邦人（文武學堂に教習たる人）と袂別して、保定府を發車し、于家庄チヤイチュワンフンシユンチヤオ、萬順橋を経て望都ワンヅ（古の慶都）に到る。城は停車場の西方約五百米突の所に在り。

夫より約三十分間時、唐河タンホを過ぐ、河幅二百米突許水淺く徒渉すべし。次驛の定州ヂンチョウは古名を中山と呼ぶ。鐵路の西南は杏桃樹多し。沙河サホは其の幅一千米突に